

安心・安全の街づくりを具体化！

平成二十三年 度・内膳町自治委員名簿（敬称略）

1 丁目	下田 吉美
〃	嶋本 隆央
2 丁目	細川 和勇
〃	竹邨 浩
〃	前川 忠央
〃	田中 利之
〃	田中 眞幸
〃	阿形 優
〃	上田 剛
3 丁目	生田 光男
〃	田村 直也
〃	福井 弘
〃	下田 修一
〃	浦野 真二
4 丁目	辰巳 欣司
〃	田中 孝雄
〃	今里 昌樹
〃	西 伸晃
5 丁目	杉井喜代秀
〃	桶谷 充廣

を訪ね、松田事務局長に義援金20万円（臨時費15万円と桜まつりの経費節約分5万円）を寄託しました。（写真上）続いて四月四日に、堀本会長ら自治会役員3名が檀原市役所を訪れ、桜まつり（四月三日開催）の売上金と地区住民からの寄付金を合わせた19万円を義援金として森下市長に手渡しました。（写真下）



東日本大震災で被災された方への
救援募金に、ご協力を頂きありが
とうございました。募金額19万円
は、前述の通り4月4日に日赤樺原
支部長の森下豊市長へ届けました。
皆様の御厚情に感謝申し上げます。

地縁団体内膳町自治会

三月五日（土）すみれホールにおいて「防災学習会」が開催されました。（約40名が出席）。市の危機管理課職員（2名）も同席。阪神大震災を教訓に作られた地震対策のマニユアル（地震の起こる前にしておくこと）を、映像と質疑を通じて学びました。

恐ろしさを、まざまざと思い知らされました。

学習会で「地震の発生から救済の手が入るまでに三日かかります。故に三日間は自分で自分を守ってください」と強調されていた言葉が、印象に残りましたが、しかし、この度の「東日本大震災」は規模が膨大過ぎて、救済活動が

直前の二月二十二日に発生した、ニュージーランド地震の惨状が日々報道されていることもあり、参加者一同熱心に聴講しました。が、よもやその六日後の十一日に東北地方太平洋沖地震が発生すると、まさに青天の霹靂。いつ

始まるまでには時間を要しま
 した。
 昨今は大きな自然災害が起
 こると、「未曾有」や「想定
 外」という言葉が頻繁に使わ
 れます。今回の地震は「想定
 は超えるもの」という教訓が
 加わりました。

南駐 車場 八木 駅前 利 用 状 況	区 分		台数見込 6ヶ月分(A)	台 数 実 績						比較 (B—A)	
				9月	10月	11月	12月	1月	2月		計(B)
	自転車	一時 利用	19,528	3,518	3,435	3,273	2,969	2,724	2,557	18,476	△1,052
		単車	定期 利用	3,978	876	691	713	606	640	562	4,088
	自動車	一時 利用	25,915	1,260	2,073	2,533	3,185	2,696	2,862	14,609	△11,306
		定期 利用	150	0	8	6	5	4	4	27	△123

自治会館職員人事異動

四月一日付で自治会館事務局職員として採用
局職員として採用
お疲れさま
永年「自治会館」の日直をしてこられた、田中孝雄さん、秦哲也さんが三月三十一日付で退任されました。

今年奈良に桜の開花宣言が出されたのは、三月三十一日でした。各地に春を告げる桜前線は日本列島を北上し、四月中旬このたびの大地震で大きな被害を蒙った北の地方へ到達しました。被災された方たちは、この春の訪れの使者をどんな想いで迎えられたのか察するに余りあります。一日も早く「復興」の2文字が、電波や活字で賑わう日が来るのを願うばかりです。

東日本大震災の被災者に届けたい

心に春を！

桜まつり肅々と開催(4月3日) 提灯の飾り付け・はっぴの着用を自粛

会場内に募金箱設置・救援を呼びかけ

昨年は3分咲きの花の下で開催された「桜まつり」一週ずらしたの開催となった今年は「見頃の桜」を期待しましたが、寒さが長引き開花が遅くなりまし。ようやく三月末になって気温が急上昇。まつり当日には5分まで桜が咲きました。しかし、周知のとおり現状は東日本大震災の発生から日も浅く、連日被災地の惨状が報道されている最中もあり、今年「桜まつり」は実行委員会での決定事項に従い(別掲)派手さを控え肅々と行われました。

会場入口の受付には、地震発生直後から、すみれホールに置かれていた「義援金募金箱」が運び込まれ、係員が来場者に、被災者救援の協力を訴えました。

開場は予定通り午前十時。この日を楽しみにしておられた方たちが、次々とさくら公園に集まり、受付を済ませた後は、参加券を片手に模擬店回ります。焼そば、フランクフルトで腹ごしらえ。そのあと子供たちは遊びの時間になります。日頃やる機会の少ない



人気の福引抽選会は黒山の人だかりに



賑わった模擬店・ヨーヨーつり

スーパードールやヨーヨーつりを楽しみました。場内が一際盛り上がり、人気のは、人気のビンゴゲームと福引き抽選会。進行役の好リードに終始大きな歓声が場内を包み込みました。この日の最高気温は十一度。一時は小雨がぱらつく肌寒い日となりましたが、子供たちの元気な声や笑顔は周囲に熱気を与えてくれました。控えムードで行われた「春の桜まつり」。不完全燃焼分は「秋まつり」にぶつけて頂きます。どうかその時には世情が好転していることを祈念します。

苦渋の開催選択 桜まつり実行委員会

三月十九日に行われた「桜まつり実行委員会」は会議に先立ち、東日本大震災の被災者に黙祷をささげた後、始まりました。冒頭、進行役の下田地縁団体内膳町自治会副会長が「各地で催し中止あるいは延期されています。この状況の中、桜まつりを開催しますか、それとも自粛しますか、どうしましょうか」と出席者に問いかけました。その後、下田副会長が執行部の考えとして「①祭りを楽しみにしてい



上手に自分で綿菓子づくり。次回は自分で綿菓子が作れる店と看板があるかも。

【綿菓子店大繁盛】

綿菓子コーナーは、町田さん(善寿会)が大奮闘。終始黙々と綿菓子作りに専念して下さいました。祭りの終盤近く、子供に「割りばし」を持たせ自分で綿菓子を作らせてあげると、これが大受け。僕も私も希望者が殺到。一躍行列の出来る店となりました。当の町田さんは急遽「綿菓子屋の店主」指導員に変身です。貴重な体験に子供

好評《グラウンドゴルフ》



レッスンに聞き入る子供達

る方がおられる②準備があらかた済んでいる③参加券がほぼ完売しており、この時点での中止は、混乱を招きかねない。現状を報告。そして、次の内容での実施を提案しました。一、提灯を飾らない二、はっぴを着用しない三、その他、派手な事は控える四、景品代を節約した金額分および売り上げ金へ参加券販売(金)を義援金とする五、会場内に募金箱を設置し、救援の呼びかけを行うなどです。同案には出席者全員が賛同。そこで改めて堀本会長からその趣旨に沿った開催の挨拶があり、当初の内容を変更し開催することになりました。